

カルボプラチン+エトポシド療法

外科 管理番号 D416

処方医: _____

適応症: 小細胞肺癌

3~4週毎に4コース繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
カルボプラチン	●														●
エトポシド	●	●	●												●

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ クール目)

Day1 (_____ 月 _____ 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食250mL 穿刺・プライミング用	1瓶		

グラニセロン点滴静注用バッグ3mg デキサート注 [30分 点滴静注]	1袋 9.9mg
---	-------------

生食500mL エトポシド 80mg/m ² [2時間 点滴静注][炎症性] アレルギー症状注意	1袋
--	----

生食250mL カルボプラチン AUC5 [1時間 点滴静注][炎症性] アレルギー症状注意複数回以上数分以内	1瓶
--	----

生食20mL [フラッシュ]	1管
-------------------	----

プライミング

Day2 (_____ 月 _____ 日) Day3 (_____ 月 _____ 日)

薬剤名	投与量
生食100mL デキサート注 [30分 点滴静注]	1瓶 8.25mg
生食500mL エトポシド 80mg/m ² [2時間 点滴静注][炎症性] アレルギー症状注意	1袋
生食20mL [フラッシュ]	1管

	今回	累積
カルボプラチン	_____ mg	_____ mg
エトポシド	_____ mg	_____ mg
エトポシド	_____ mg	_____ mg
エトポシド	_____ mg	_____ mg

[適正使用基準]

[DLF]

- PS (Performance Status)が0~2である。
- *2. 重症感染症またはその疑い(CRP異常、発熱、白血球異常増多)がない。
3. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

カルボプラチン:
白血球および血小板減少

エトポシド:
カルボプラチン 腎障害時用量調節
エトポシド 腎障害時用量調節

血液一般検査	*WBC (/μL)	4000 ≤	
	*Neut (/μL)	2000 ≤	
	*PLT (/μL)	15万 ≤	
	HGB (g/dL)	11.0 ≤	
血清生化学検査	GOT (IU/L)	≤ 40	
	GPT (IU/L)	≤ 35	
	TBil (mg/dL)	≤ 1.2	
	BUN (mg/dL)	≤ 20	
	Cr (mg/dL)	≤ 1.1	

[肝機能および腎機能を考慮した投与量の調節]

CBDCA: Calvertの計算式より算出する。

投与量(mg/body) = 目標AUC値 × (GFR + 25) *GRF = Ccrで代用可能。

[DLFを除く重大な副作用]

《カルボプラチン》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状 [チアノーゼ・呼吸困難・胸内苦悶・血圧低下等]
- ・脳梗塞 [頭痛・意識障害等]
- ・急性腎不全 [むくみ・尿量低下・検査値異常等]
- ・麻痺性イレウス [食欲不振・悪心嘔吐・著しい便秘・腹痛・腹部膨満感等]
- ・間質性肺炎 [発熱・咳・呼吸困難・胸部X線異常等]
- ・溶血性尿毒症症候群 [血尿・貧血・検査値異常等]

《エトポシド》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状 [チアノーゼ・呼吸困難・胸内苦悶・血圧低下等]
- ・間質性肺炎 [発熱・咳・呼吸困難・胸部X線異常・好酸球増多等]

・心筋梗塞、うっ血性心不全〔胸痛・むくみ・呼吸困難・チアノーゼ等〕